



2019年3月期 上半期 決算説明資料

データセクション株式会社

2018年 11月 9日

証券コード：3905

1. 2019年3月期 上半期サマリー

2. 2019年3月期 上半期実績値

3. 2019年3月期の戦略

4. 事業の考え方とビジョン

1. 2019年3月期 上半期サマリー

2. 2019年3月期 上半期実績値

3. 2019年3月期の戦略

4. 事業の考え方とビジョン

財務状況及び実施施策について

財務状況

- ✓ 当上半期における売上高は444百万円（前年上半期68%増） 営業利益18百万円（前年上半期は営業損失4百万円）となった。

方針と実績

戦略転換が奏功し、上半期から安定した収益の上がる体質に転換しはじめています。



- ✓ 受託開発では大口顧客案件にフォーカスし、継続受注。
- ✓ ディーエスエスの売り上げ伸長を実現。
- ✓ 新規事業では人工知能（AI）により3件の新サービスをリリース。
- ✓ KDDI株式会社との資本業務提携により将来的な収益増に向けた地盤固めを行った。

1. 2019年3月期 上半期サマリー

2. 2019年3月期 上半期実績値

3. 2019年3月期の戦略

4. 事業の考え方とビジョン

損益計算書（連結）

当上半期の売上高は創業以来過去最高となり、昨年同期比68%増となった。要因は以下の通り。

- ✓ データセクション受託開発の大型化
- ✓ ディーエスエスの連結への取り込みと売り上げの伸長
- ✓ ソリッドインテリジェンスの売り上げ伸長

(単位：百万円)

	2018年3月期 (1Q~2Q)	2019年3月期 (1Q~2Q)	増減額	増減率
売上高	264	444	179	68%
営業費用	269	426	157	58%
営業利益	△4	18	22	- %
経常利益	△7	12	19	- %
四半期純利益 または四半期純損失 (△)	△6	4	10	- %

貸借対照表（連結）

- ✓ 固定資産増加の主な要因は、ディーエスエス取得対価の追加支払いとFollowUP事業取得により
のれんが241百万円増加したことによるものである。
- ✓ 負債増加の主な要因は、M&Aのための借入金が増加したことによるものである。

（単位：百万円）

		第18期末 (連結)	第19期2Q (連結)	増減額
資産	流動資産	1,569	1,515	△53
	固定資産	496	881	384
	資産合計	2,065	2,397	331
負債 純資産	負債合計	235	555	319
	純資産	1,830	1,841	11
	負債純資産 合計	2,065	2,397	331

1. 2019年3月期 上半期サマリー

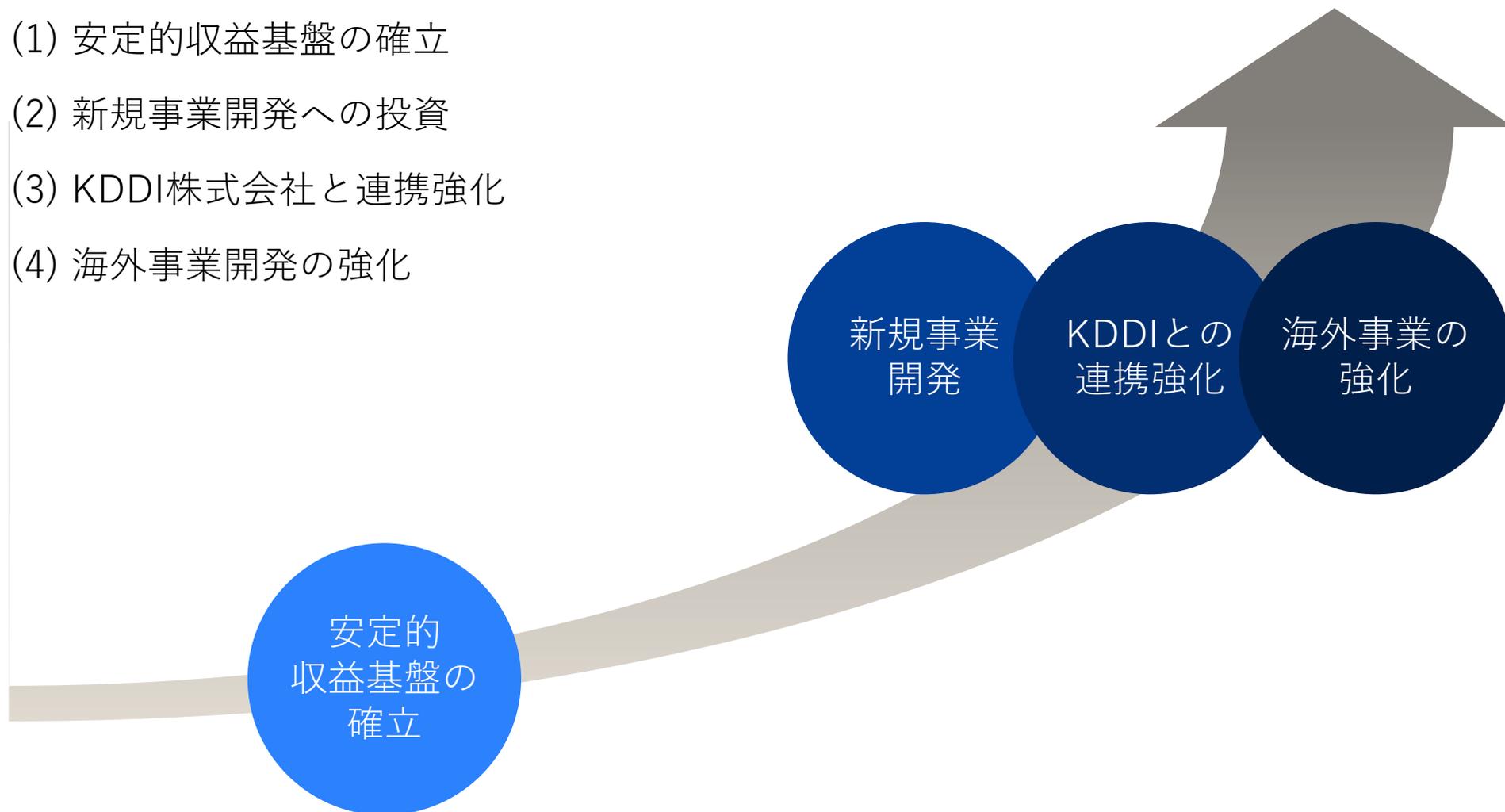
2. 2019年3月期 上半期実績値

3. 2019年3月期の戦略

4. 事業の考え方とビジョン

2019年3月期の戦略

- (1) 安定的収益基盤の確立
- (2) 新規事業開発への投資
- (3) KDDI株式会社と連携強化
- (4) 海外事業開発の強化



収益基盤安定化のための取り組みを継続的に実施

方針

- ✓ システム開発の上流工程からコンサルテーションすることにより高付加価値化。
- ✓ 大型システムの運用保守により、ストック売り上げ基盤を確保。
- ✓ 安定的かつ継続的な売り上げを見込める事業会社のM&Aと育成により、さらに収益基盤を強化。

実績

- ✓ 上記方針に基づく施策が奏功し、開発費+ストック売り上げアップを実現。
 - 大口システム開発案件の継続受注を実現。運用保守による継続的売り上げも伸長。
 - M&Aによりグループ会社とした「ディーエスエス」の売り上げが伸長。

自社サービス型新規事業開発を加速

方針

- ✓ AI受託型研究開発から自社サービス型へのシフトをさらに加速。
- ✓ M&Aや事業譲受等の手段も用いて、参入先業界のノウハウや顧客基盤を自社に取り込み、新規事業の立ち上がりフェーズをスピードアップ。
- ✓ 自社サービスによるストック型売り上げモデルを構築し、継続的な売り上げ蓄積を図る。

実績

- ✓ AI利活用型の自社サービスを、新たに3サービスリリース

①ドローン トラフィックモニター

ドローン×AIによる
交通量調査サービス

②FollowUP

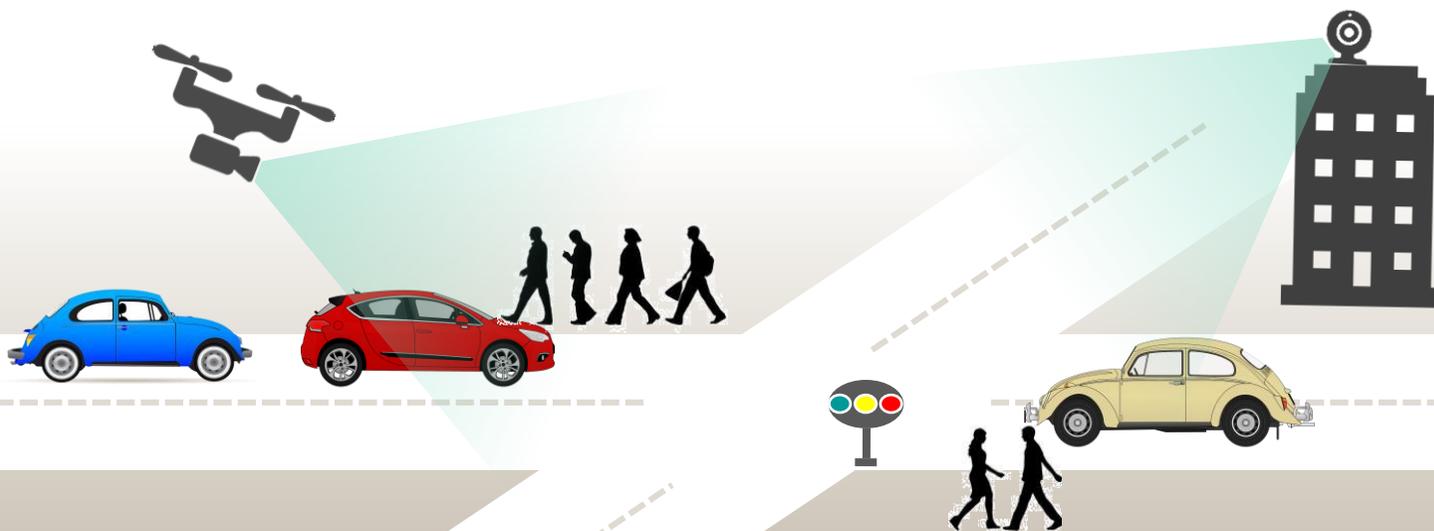
小売店舗の入店客データ分
析サービス

③MLFlowアノテーション

機械学習向け教師データの
作成代行サービス

新サービス① ドローントラフィックモニター

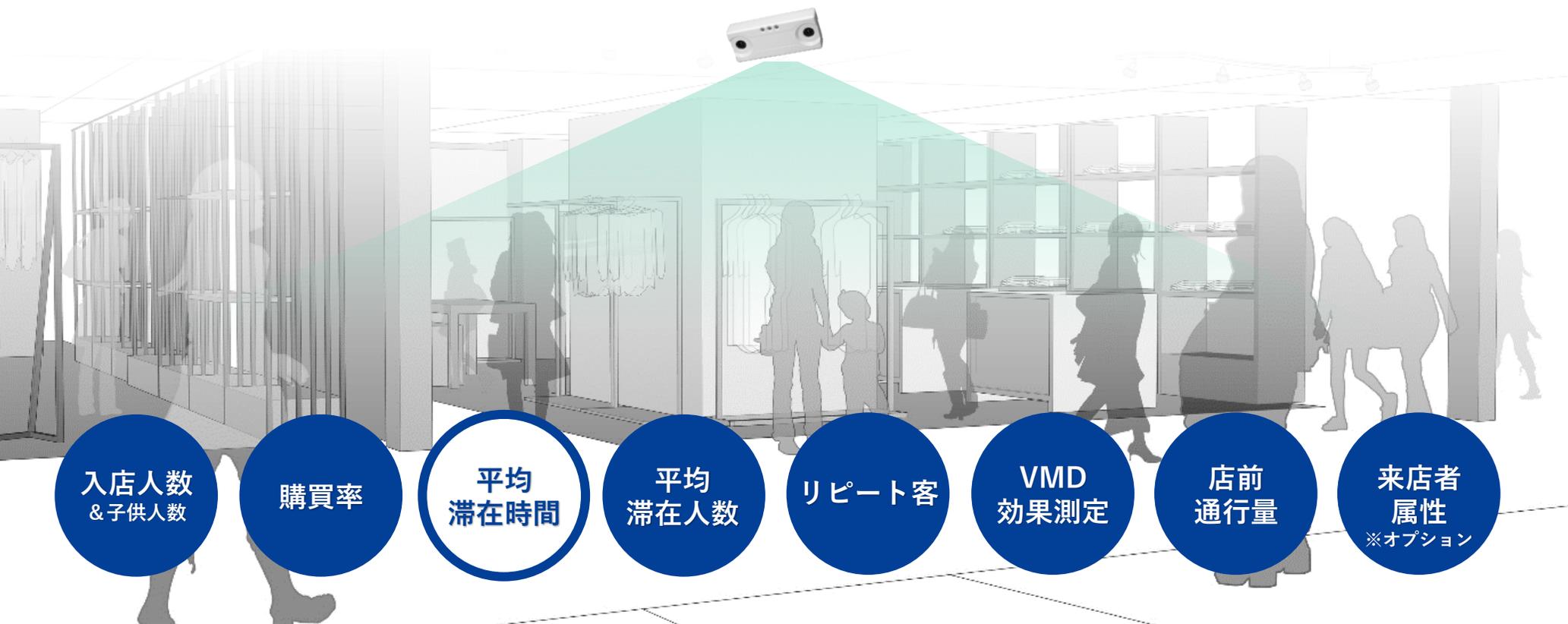
- ✓ ドローン×AIにより人手不足/人的コスト問題を解決するサービスの開発を展開中。
 - 2018年2月 太陽光発電設備点検サービス「ソーラーチェック」リリース
 - 2018年8月 交通量調査サービス「ドローントラフィックモニター」リリース
- ✓ 新サービス「ドローントラフィックモニター」には、大手自動車会社との共同研究で培った自動運転のAI技術を投入。



ドローン/固定カメラにより撮影した動画をAI解析し、交通量を計測

新サービス② FollowUP（フォローアップ）

- ✓ 2018年7月、小売店向けマーケティングツール事業を譲受。
（国内外2,000店の導入実績のある事業の国内事業を譲受）
- ✓ データセクションの画像解析技術をプラスして今後さらに差別化を図る。



新サービス③ MLFlowアノテーション

背景

- ✓ 機械学習を利用したソリューション開発のニーズが高まっている一方、教師データの作成（アノテーション）を行う人材が不足している。

特長

- ✓ 開発プロジェクトのニーズに合わせてアノテーション作業を代行。
- ✓ 大量かつ高品質な教師データを短期間で納品。
- ✓ データセクション独自のAI開発プラットフォーム「MLFlow」と連動。発注者と作業者双方で作業進行と教師データの品質を確認可能。



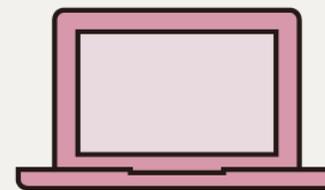
Point 1

画像、テキストなど、プロジェクトのニーズに合わせたアノテーション作業を代行。



Point 2

独自に組織したアノテーターチームにより、大量かつ高品質な教師データを短期納品。



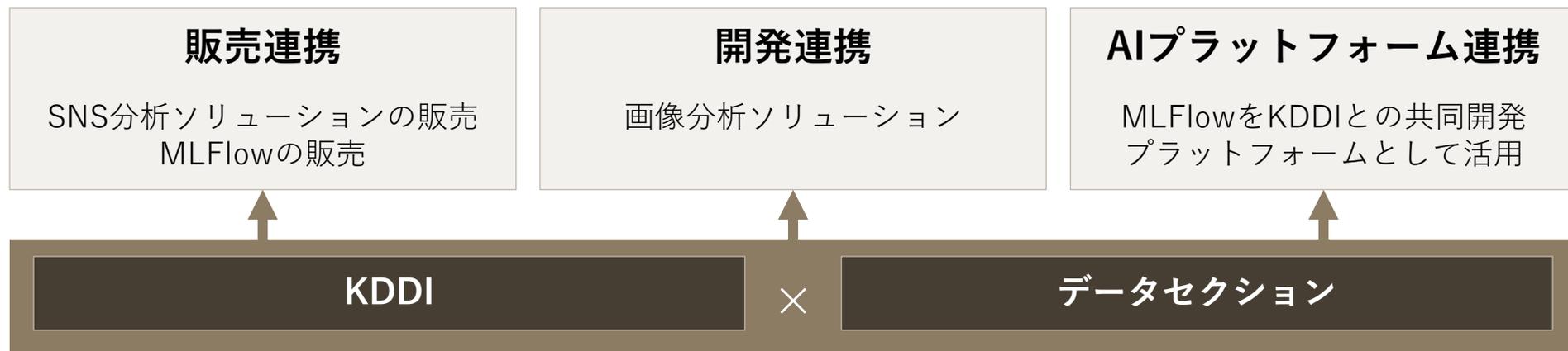
Point 3

発注者と作業者双方で進捗確認が可能。

アライアンス強化により新規事業を検討

方針

- ✓ KDDIが取り組むIoTや5G、データセクションが取り組む画像解析技術やSNS分析などのノウハウを組み合わせた取り組みを検討していく。



実績

- ✓ KDDIが9月に開設した「KDDI DIGITAL GATE」にパートナー企業として参画。
(AI技術分野における唯一のパートナー企業)

成長市場である新興国における事業展開を強化

方針

- ✓ ドローントラフィックモニターやFollowUPなど、自社の新しいサービスの海外展開を強化。
- ✓ 地域を問わず、新興国の成長市場において現地企業と協業する。
- ✓ DATASECTION VIETNAM CO.,LTD(DSV)については、新たな資本業務提携先との協業による事業拡大を図る。

実績

- ✓ DSVが、デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社と資本業務提携契約を締結。

1. 2019年3月期 上半期サマリー

2. 2019年3月期 上半期実績値

3. 2019年3月期の戦略

4. 事業の考え方とビジョン

データセクションの長期的な取り組み

- (1) 事業領域
- (2) データセクションの成長シナリオ
- (3) 事業の基本姿勢
- (4) データセクションのビジョン / ミッション

データとAI技術を生かした事業展開

多様な事業を展開することでデータとAIの知見を蓄積していく



戦略的な投資の実施

借り入れも含めた資金調達を行い、AI分野における事業展開を狙う。



Action

キャピタルのみならず、借入を含めて資金調達を実施
レバレッジを効かせた積極投資

Target

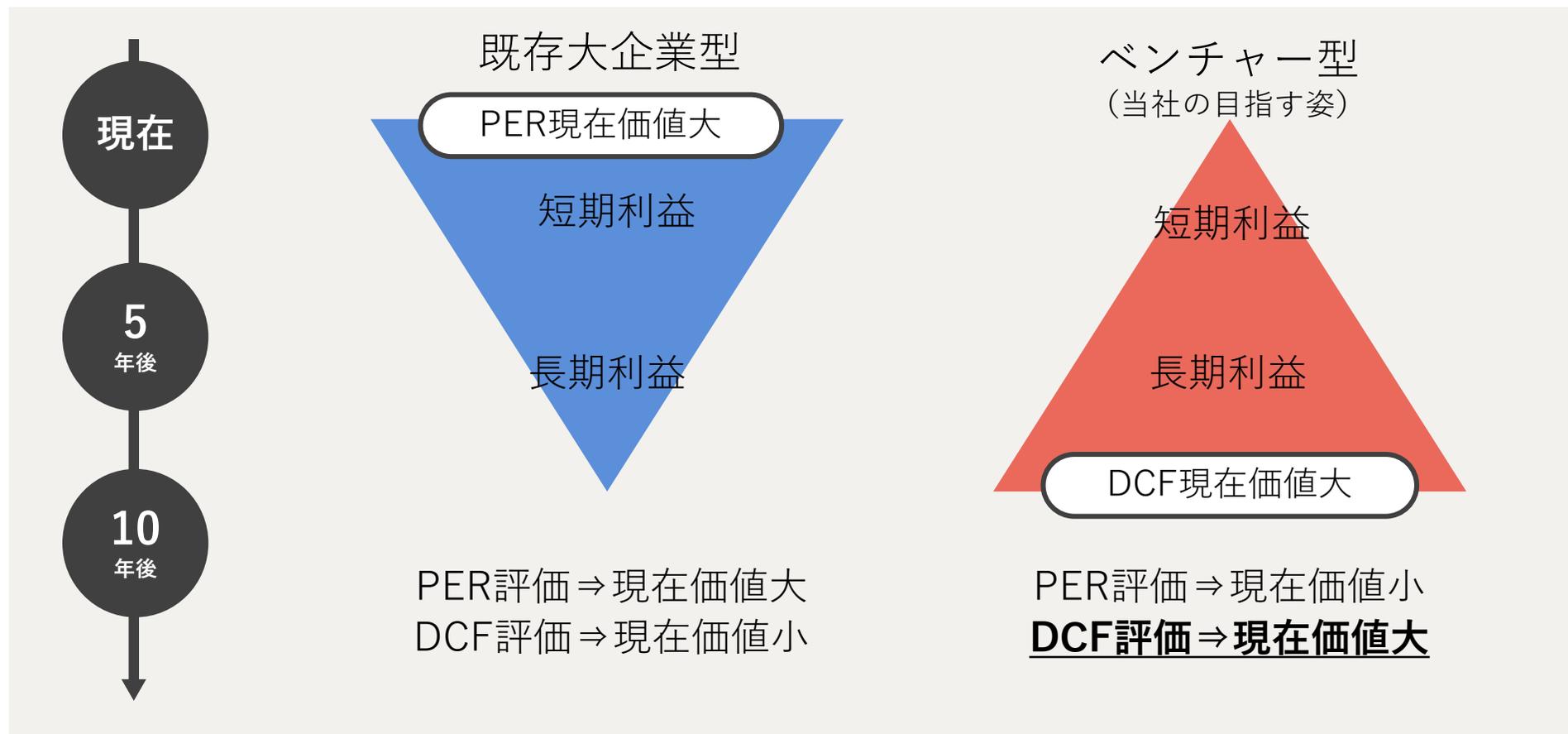
- ①事業シナジーがあり大幅な成長を明確に期待できる事業体
- ②売上利益の増大を見込むことができる事業体

Growth

AIなど新規事業への投資で事業拡大
労働集約型のレガシー事業においてAIを活用することで成長企業へ転換させる

長期的な成長を重視して人材・開発に投資

短期的な利益最大化だけでなく、長期的な利益に基づく現在価値最大化を重視する。



Vision : What we will be ...

人々の暮らしを世界中でバージョンアップし続ける

Mission : What we should do...

Change the Frame

テクノロジーで実社会に変革をもたらし、新しい暮らしをつくりあげる

データセクション株式会社

所在地 東京都品川区西五反田1丁目3-8
五反田御幸ビル 8F

役員構成

代表取締役社長 兼 CEO	林 健人
代表取締役社長 兼 COO	平本 義人
取締役CFO	望月 俊男
取締役CTO	今井 真宏
取締役（社外）	中嶋 淳
常勤監査役	田代 彰
監査役（社外）	石崎 俊
監査役（社外）	横山 大輔
会長	澤 博史
顧問	橋本 大也

事業内容 マーケティングリサーチ事業
データ提供・加工事業
画像解析事業
海外SNS分析事業
業務系データ活用・最適化事業

ソリッドインテリジェンス株式会社

海外ソーシャルメディアを中心としたビッグデータ活用支援

株式会社ディーエスエス

電子計算機および附属機器の販売およびその保守

DATASECTION VIETNAM CO.,LTD

アジアのビジネス拠点、開発拠点、オフショア拠点

株式会社日本データ取引所

公正性・安全性・信頼性を備えた最適なデータ取引市場の提供

データセクション株式会社

info@datasection.co.jp
03-6427-2565

〒141-0031

東京都品川区西五反田 1 丁目 3 - 8 五反田御幸ビル 8F

<https://www.datasection.co.jp>

注意事項

- 本資料は投資家の参考に資するため、当社の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。